



内閣府（防災担当）



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム

防災とボランティアのつどい

～学べる、つながる、みんなで考える～

資料集

河田のどか氏 提供資料	-----	2
阿部巧氏 提供資料	-----	10
門馬優氏 提供資料	-----	12
今村恵美氏 提供資料	-----	18

防災とボランティアのつどい

国連防災世界会議 in 仙台

2015年3月15日(日)



河田 のどか



特定非営利活動法人さくらネットとは？

【さくらネットのご紹介（平成20年設立）】

防災・減災教育、災害にも強い福祉コミュニティづくり、協働による市民社会づくりに取り組むNPO法人です。

防災・減災
教育

災害時
要援護者支援

被災地
復興支援活動

以上の3点を柱に活動をしています。

【防災・減災教育推進課のご紹介】

考える力

生き抜く力

判断する力



子どもたちと共に育む防災・減災教育を促進しています。

HP : <http://www.npo-sakura.net/>

個人の自己紹介

- ◆ 阪神・淡路大震災を7歳(小学1年生)で体験
- ◆ 兵庫県立舞子高等学校 環境防災科 2期卒業生
- ◆ 神戸学院大学 防災・社会貢献ユニットに進学
ゼミで防災教育を専攻し、教材開発に取り組む
—大学時代に立ち上げた団体でのボランティア活動
 - ・ネパールでの防災教育活動
 - ・幼稚園、保育士を目指す学生を対象とした防災教育
 - ・神戸の復興住宅への訪問活動
- ◆ 2010年よりNPO法人さくらネットの職員となる
 - ・子ども向け防災教育の実践、防災教育若者リーダー養成
 - ・東日本大震災学生ボランティアバス運行 等



◆ 防災・減災教育推進課の27年度の取り組み ◆

2014年夏～冬

KOBEから未来へ

～100年後に伝えよう“防災教育”の大切さ～

KOBE (ひとぼう)で学ぼう!!

人と防災未来センターで防災教育の特別プロジェクトを実施します!

ひとぼうで体験!

知ろう! 学ぼう! やってみよう!

↓

学校や地域で実践!

防災訓練 マップ作り 家族と話す

1.17防災未来賞

ぼうさい甲子園

応募校数 累計1,000校突破!! (2005～2013年度)

たくさんのご応募、お待ちしております。2015年1月、特別式典を実施します! ぜひ神戸へお越し下さい!

1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会 防災力強化推進連絡会スタアコンクール委員長

ぼうさい甲子園10周年

防災教育キャラバン

防災教育の魅力発信! 全国各地をおたずねします!

防災・減災

1. KOBE“ひとぼう”で学ぼう!!①

～兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課委託事業～

平常時から、子どもたちが災害時に生命を守る力や、
リスクを超えていく力をつけることを支援するため、

①防災教育推進者(教職員・PTA・自主防災組織員)の
スキルアップ

②参加者(児童・生徒)への啓発

を目指しながら、

人と防災未来センターの見学と合わせ、

学校や地域の状況に応じた防災教育体験プログラムの
提供をしています。

1. KOBE“ひとぼう”で学ぼう!!②

～兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課委託事業～

◆体験プログラム例

震災体験談

防災・減災
○×クイズ

避難所
寝てみる体験

地域のハザードマップを
見てみよう

災害時に
役立つ工作体験

非常持ち出し袋を
考えよう

全国の小中学生の
防災の取り組み紹介

災害・避難
シミュレーションゲーム

震災体験談



非常持ち出し袋を 考えよう



災害時に 役立つ工作体験



災害・避難 シミュレーションゲーム



1. KOBE“ひとぼう”で学ぼう!!③

～兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課委託事業～

- ◆ 学校や地域の状況に応じた防災教育体験プログラム提供
- ◆ 教職員だけでなく、PTAや保護者、地域の自主防災組織の方等にもご参加いただけるよう呼びかけ
- ◆ 学校に戻ったり、家に帰ったりしてからも取り組めるアイデアや資料など、おみやげの提供

KOBE“ひとぼう”で学ぼう!!への参加をきっかけに、
学校・家庭・地域での防災活動の第一歩として頂きたい

継続的な防災の取り組みの実践・継続へ



平成26年度
1.17 防災未来賞

ぼうさい 10周年 甲子園

いのちを守るため 学び伝えよう 未来へ

子どもや学生が学校や地域で取り組んでいる
さまざまな防災教育や防災活動を募集します。

応募締切
平成26年
9月30日

問い合わせ先

〒653-8201 兵庫県神戸市西区16-8 パルフェーレ11棟西向き
ぼうさい甲子園事務局 さくらネット
電話 079-624-6509 ファックス 0796-65-6254
メール bouzai_kourai@yahoo.co.jp

〒651-0073 神戸市中央区福寿通1-5-2 近藤6階
公益財団法人防災記念21世紀研究機構 入会部市民センター-事務局及課
電話 079-628-0069
ファックス 079-602-0082

主催 兵庫県、毎日新聞社
後援 内閣府、総務省消防庁、文部科学省、国土交通省
兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、関西広域連合
ひょうご安全の日推進県民会議

事務局：(特非) さくらネット

1.17 防災未来賞 『ぼうさい甲子園』

阪神淡路大震災の経験と教訓を未来へ向けて
継承する為に、学校や地域で、防災教育・防災
活動に取り組む子供や学生を懸賞する事業。
平成26年度で10周年。

全国各地から応募が集まり
それぞれの日々の防災への取り組みは
『生きた知恵』として蓄積されている

- 主催：兵庫県、毎日新聞社
(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構
- 後援：内閣府、総務省消防庁、文部科学省、国土交通省
兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、関西広域連合
ひょうご安全の日推進県民会議
- 事務局：(特非) さくらネット



2. ぼうさい甲子園②

【対象部門】 ①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生

自主防災組織・NPO等からも各部門に応募可

【対象活動】 日常の備えとなる学校や地域での取り組み

【対象期間】 平成24年10月1日～平成26年3月31日

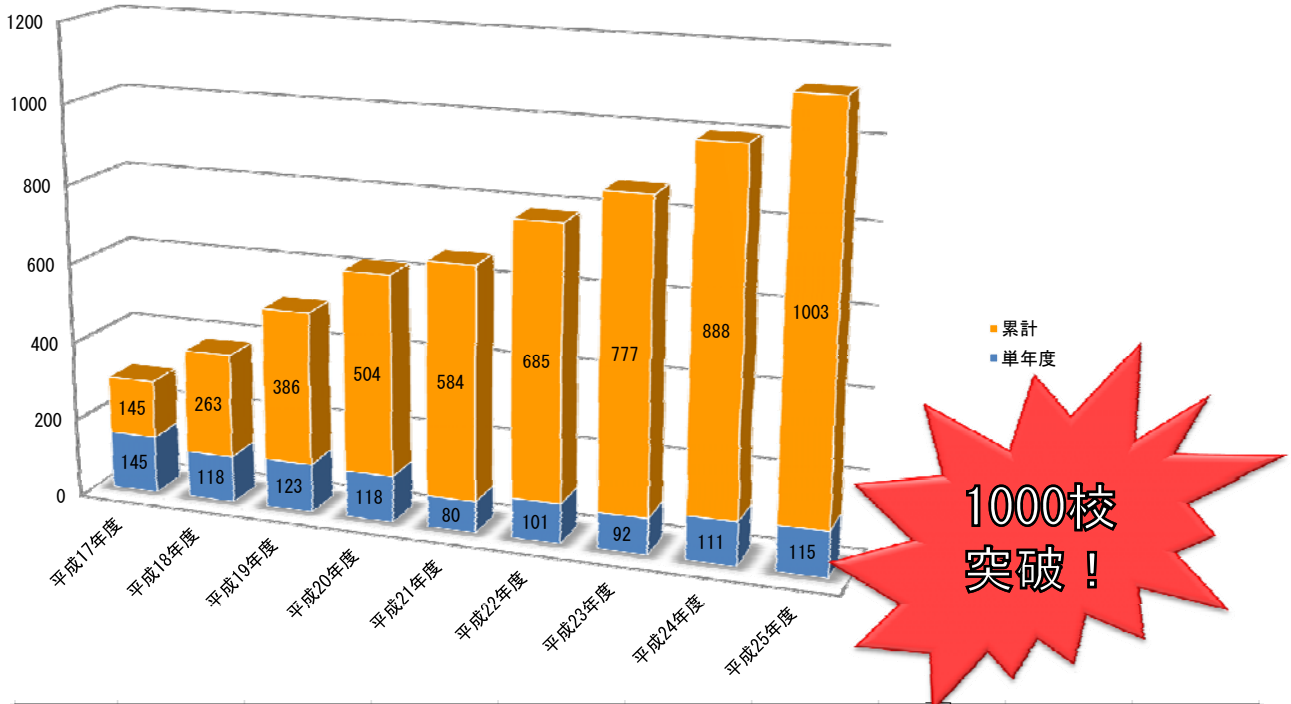
(平成25年度参考)

【選考基準】 **地域性** **独創性** **自主性** **継続性**

【賞】

1. ぼうさい大賞・・・各部門1点
2. グランプリ・・・ぼうさい大賞の中から1点
3. 優秀賞・奨励賞・・・各部門1～数点
4. 特別賞・・・数点

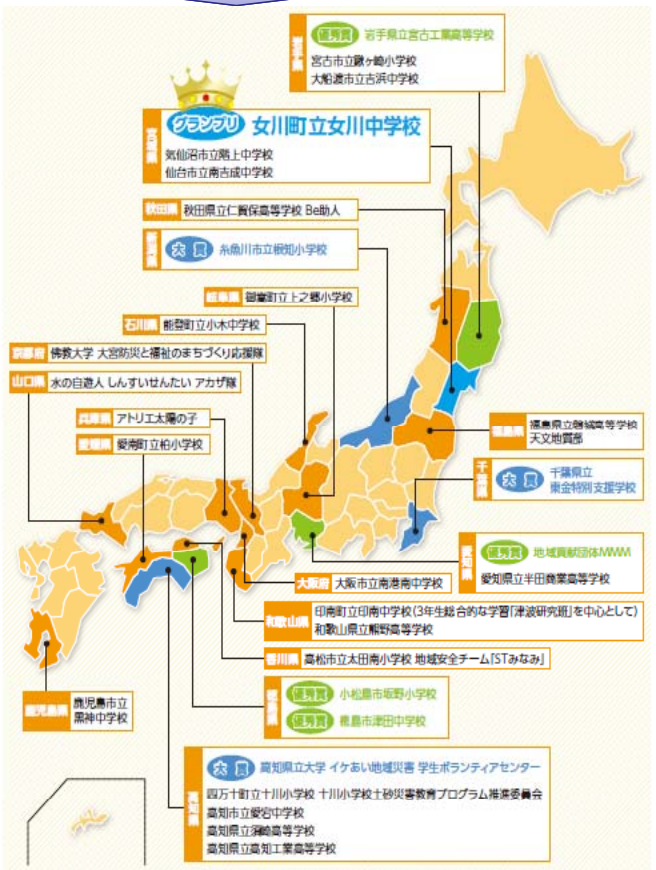
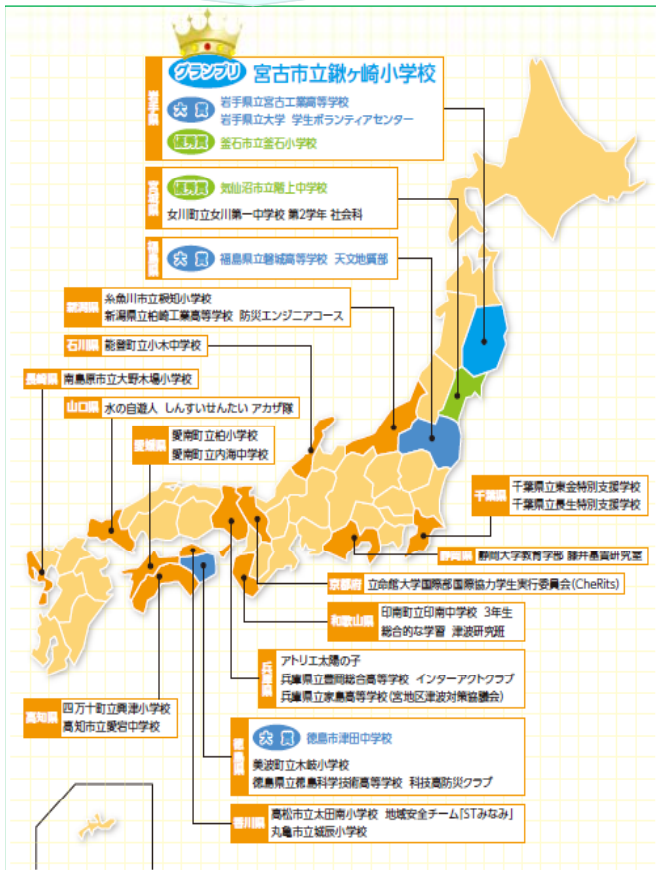
2. ぼうさい甲子園(応募校数累計)③



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
単年度	145	118	123	118	80	101	92	111	115
累計	145	263	386	504	584	685	777	888	1003

平成24年度受賞校

平成25年度受賞校



2. ぼうさい甲子園④

・ぼうさい甲子園10周年記念事業を実施

①歴代受賞校の合宿

・日時：2014年11月1－2日

・対象：歴代の受賞校の担当教諭、卒業生

②ぼうさい甲子園10周年記念フォーラム

・日時：2014年11月3日

・対象：誰でも参加可



* 合宿では、防災教育の実践内容、実施の課題・工夫の共有、若者による未来へ向けた、「ぼうさい未来宣言」の作成を行った

* フォーラムでは、防災教育の可能性、防災教育が子どもたちにあたえた影響、防災教育を受けた子ども達自身の変化などを発信した

防災未来宣言

阪神・淡路大震災から20年を迎えます。日本はその後も様々な災害を経験し、多くの尊い生命を失いました。人々が受けた苦しみやさみしさ、現地にある真実、地域ごとに語り継ぐことの大切さ、それらを共有し、広めていくため、私たちは、1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を通してつながりを発信してきました。その中で東日本大震災がおこり、私たちは、さらに人とつながることのありがたさを改めて感じる事ができました。ここで私たちは未来にむけて宣言します。

1. あたたかいご飯、ゆっくり眠れる家に感謝し“あたりまえ”を大切にします
2. 自分事として災害の事実と向き合い、伝えます。
3. 人、仲間、地域、社会、そして自然
かけがえのないものとのつながり、深めていきます
4. 生きる意味を考え、自ら判断する力を育み、共に動き続けます。
5. もしもの時も「絶対に生きる」強い意志を持ち、“いのち”を守り抜きます
6. 自分のいのち、仲間のいのち、家族のいのちを大切にする防災活動を広げます

3. 防災教育推進の取り組み(例)

1. 子ども防災意識啓発事業の実施

- ・子ども防災EXPOの企画・運営
(災害時お役立ちグッズの工作体験、防災クイズ、
非常食体験、応急手当の方法 等)
- ・防災講演会の実施(主に小中学生対象)



2. 防災教育・防災活動に取り組む子ども達の応援

- ・宮城県女川中学校卒業生のいのちの教科書づくり支援
- ・防災教育交流会の企画・運営 等

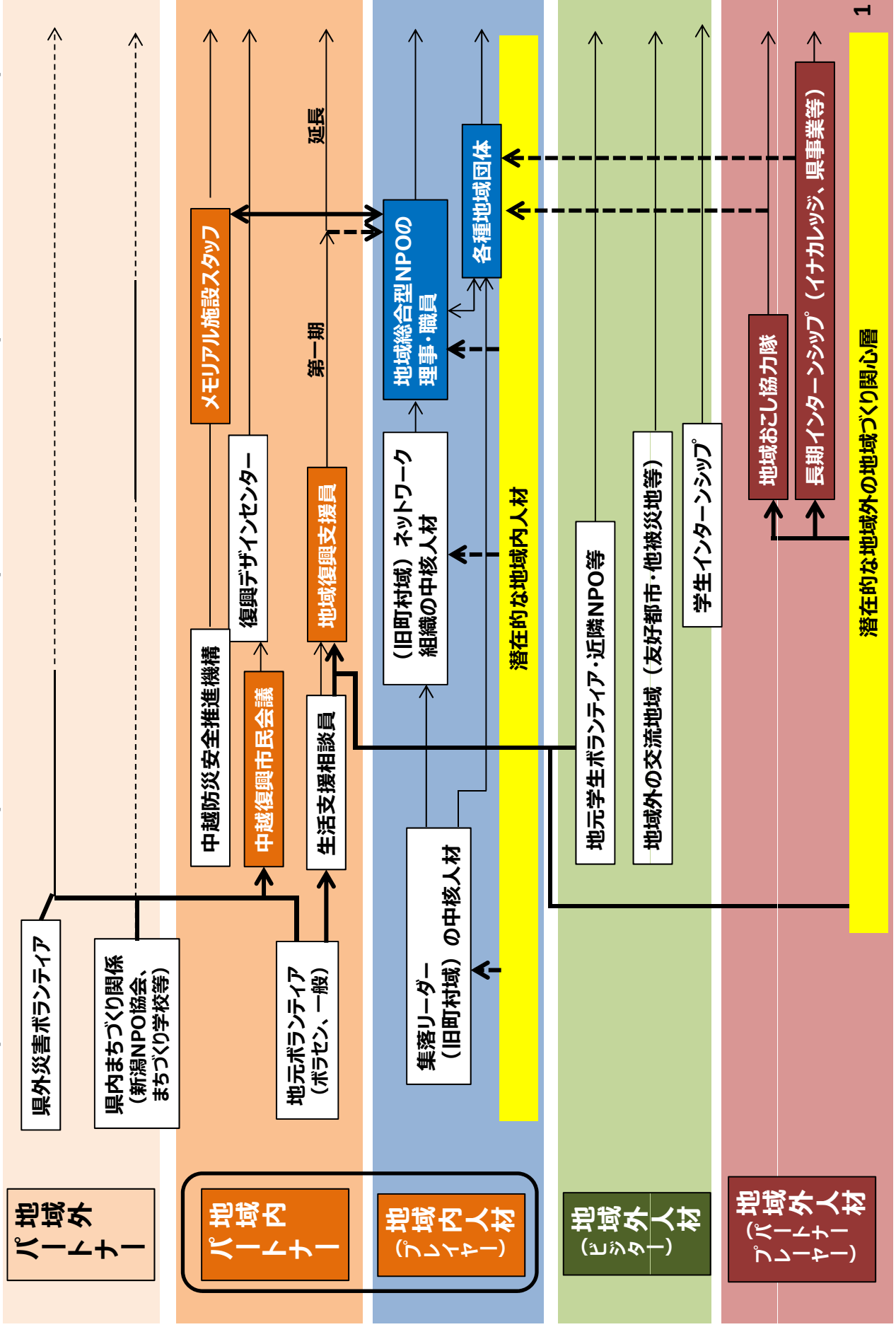


3. 防災啓発ツールの企画・開発、貸出 等

- ・子ども防災啓発リーフレット、防災パネルクイズ
- ・防災展示パネル(地震・)

中越復興人材・見取り図 (公社)中越防災安全推進機構 復興デザインセンター 阿部巧

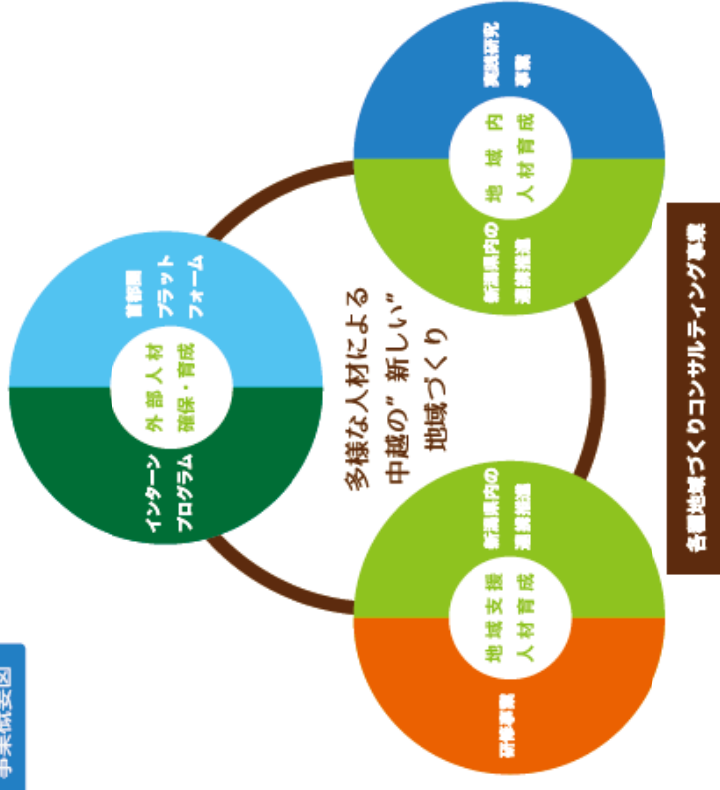
2004年 2005年 2008年 2011年 2014年



2015 年度 復興デザインセンター事業概要

これまで復興デザインセンターは、中越大地震からの復興を支援する中間支援組織として、被災した中山間地域での復興や地域づくりに関わる人材確保・育成に取り組んでまいりました。また、その経験を活かして全国の中山間地域における人材育成や、東日本大震災被災地の復興人材の育成・支援なども行っています。

事業概要図



復興デザインセンターでは、インタウン生など地域に新しい視点をもたらす「外部人材」と地域復興支援員などの地域活動をサポートする「地域支援人材」、そして地域の担い手である「地域内人材」と連携しながら震災復興を越えた活気ある「新しい中越の日常」を目指します。

メンバー



1. 外部人材育成

① インタウンシッププログラム

平成 24 年度からイナカレッジ（インタウンシップ事業）をスタートさせ、定任者が出るなど一定の成果を上げています。今後、も都市から地方への働きを加速化させていくために引き続きインタウンシップ事業を行います。また、多様なニーズに答えるために全体的に波及させていくと共に、定住希望者の就業支援等も行っています。

●内容：長期インタウンシップ / 短期インタウンシップ / インタウンシップ募集活動

② 首都圏フラットフォーラム

首都圏に中越地方と関わるフラットフォーラムをつくることにより、中越地方の多様な担い手の育成を目指します。交流イベントやツアーなどの企画運営、就業支援、新規事業開発等を主な事業とし定住人口、交流人口、留連人口、地域活性化コミュニティの発展・育成を行います。

●内容：各種 PR 活動 / 体験ツアー企画 / マッチングイベント / 新規事業開発 / コミュニティ形成等

2. 地域支援人材育成

① オープンセミナー

地域復興支援員、農業支援員、地域おこし協力隊、自治体職員などを対象とした、研修会・情報交換会を開催します。具体的には新潟県内の先進的な地域づくりの現場を見るフィールドワークと実践研究（農村起業、女性、野生動物、エネルギー自給、森林資源、空き家、農業経営）の公開セミナーを行います。

●内容：フィールドワーク（5月～8月） / 実践研究公開セミナー（11月～1月）

② 地域復興支援員研修会

主に、新入地域復興支援員を対象とした研修会を開催します。先輩支援員や地域おこし協力隊などを講師としてお迎えし、地域復興支援員が「地域が求めること」「自分ができること・やりたいこと」のバランスを保ちながら、任期終了後も活躍した、自らの役割を考え整理していける場を作ります。

●内容：復興支援員研修会（1 回～3 回は 1 泊 2 日を予定）

3. 地域内人材育成

① 実践研究

これまで、復興デザインセンターのスタッフが 1 人 1 人テーマを持って、必要に応じて他の研究者と協力しながら、現場での実践と合わせた研究を行ってきました。今後は、この実践研究を「地域復興支援員」や「地域 NPO」、「地域住民」等と共に行うことで、研究テーマに属するスペシャリスト育成を兼ねます。

研究テーマ



内閣府(防災担当)

防災とボランティアのつどい

特定非営利活動法人TEDIC
代表理事 門馬優

自己紹介



門馬 優 (もんま ゆう)

特定非営利活動法人TEDIC 代表理事

宮城県石巻市出身、平成元年3月生まれ

2007年 滋賀県立守山高校卒業

2011年 早稲田大学法学部卒業

同5月 TEDIC設立(2014年9月、法人化)

2013年 早稲田大学大学院教職研究科卒業

石巻専修大学共創研究センター特別
研究員を拝命

2015年 子どもの権利条約全国フォーラム
2015in石巻 事務局長を拝命

◆ビジョン

ひとりぼっちのいないまち、石巻、社会の実現

— ひとりぼっちとは、社会的所属もなく、ひととの繋がりを断たれ、社会的に孤立した状態を指す。

設立	2011年5月
所在地	宮城県石巻市
スタッフ数	約20名（うち、職員4名）+プロボノ（約10名）
プログラム	<ul style="list-style-type: none">・学習サポート 4拠点・サードプレイス 3拠点・不登校サポート 1拠点

学習サポート

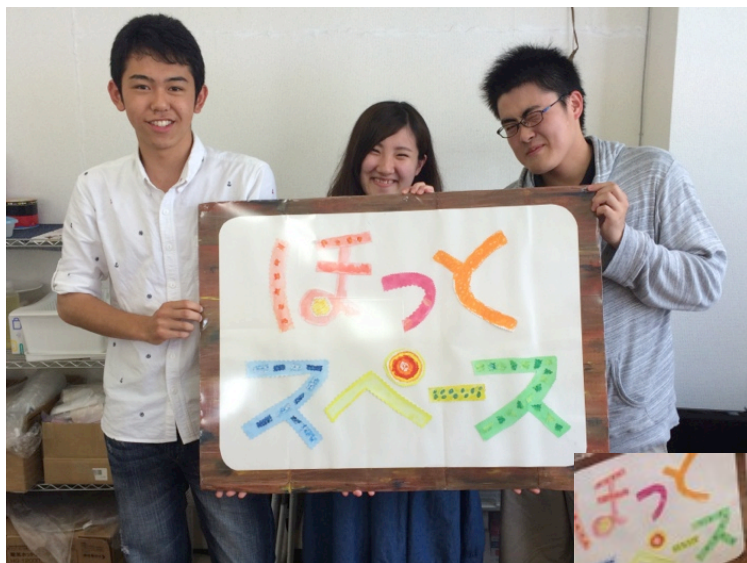


- ・石巻市内4カ所
（すべて小学校）
- ・各拠点 週1回
- ・15:30～17:00

虐待・ネグレクト・貧困…



不登校サポート



- ・石巻市内1カ所
(弊法人事務所)
- ・週2回(火・木)
- ・11:00~14:30

「震災の日から、
学校に通うのが怖くなった。」



サードプレイス



- ・石巻市内3カ所
(公民館等)
- ・各拠点 週1回
- ・18:30~20:30

「週1回、ここで話せるから、
俺頑張れるんだ。」



「引きこもった」という事実が怖いんじゃない。

それは、社会のルールから外れてしまって、

もう誰にも受け止めてもらえないんじゃないか。

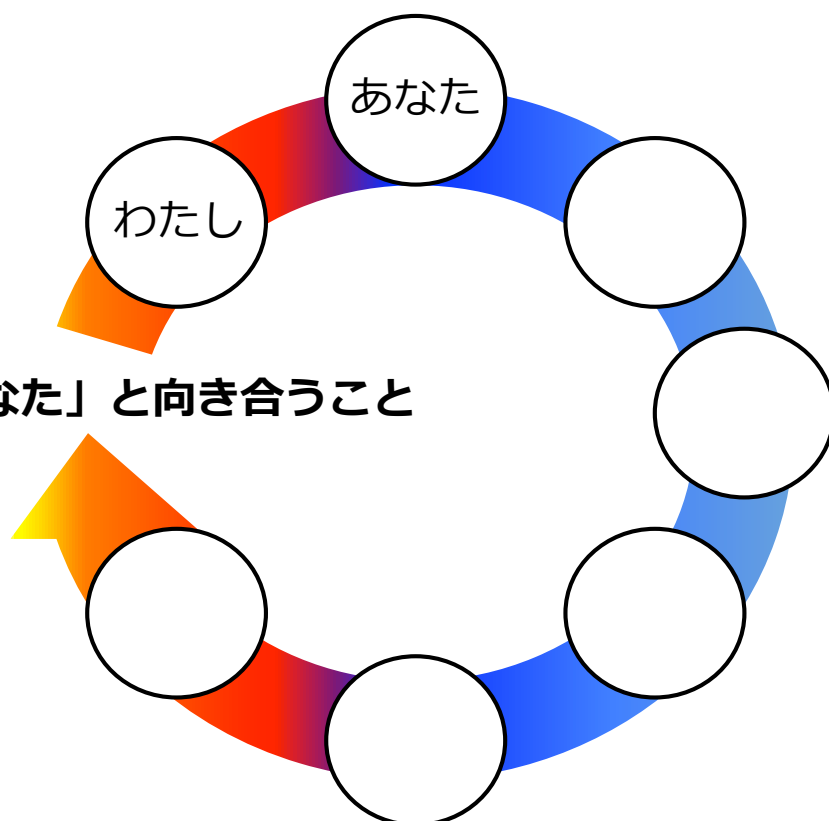
そんな孤独だった。



「わたし」と「あなた」の連鎖

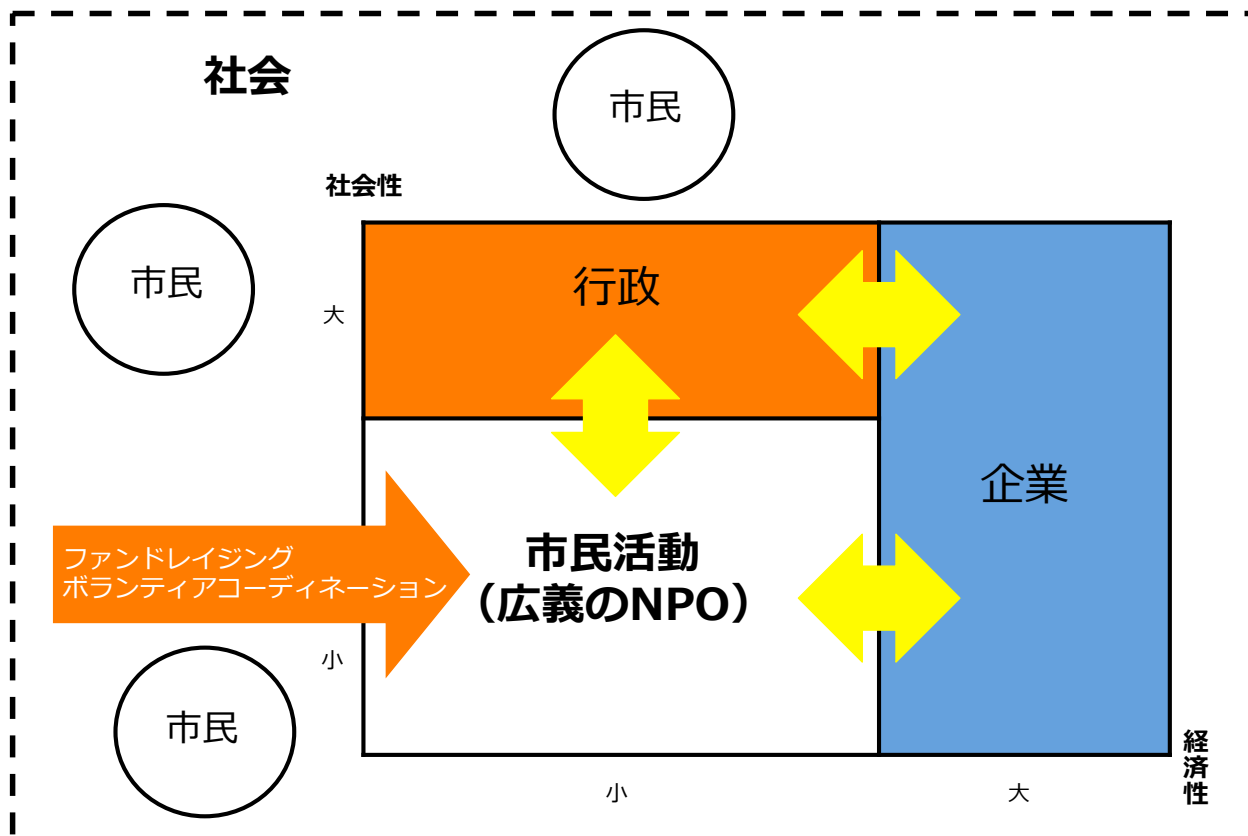
Pedi つながる×ひろがる キャンパス
Teacher Education | SHINOMAKI Campus

目の前の「あなた」と向き合うこと



「市民」が社会を動かす、創造する

※参考資料

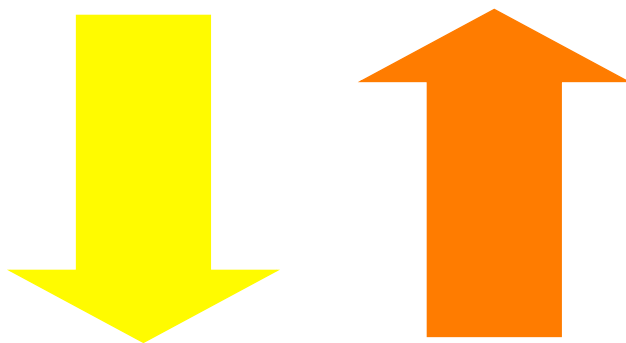


「川下」から「川上」へ...

※参考資料

川上

社会の仕組み・制度・社会通念 (当たり前)



川下

虐待、子どもの貧困、育児放棄、不登校

宝もの

いのち

つながり

うけいれる
(よりそい)

防災とボランティアのつどい
～学べる、つながる、みんなで考える～

今村 恵美



特定非営利活動法人

カリタス 釜石



**カトリック釜石教会と遠野教会の
有志による緊急人道支援から
わたしたちの活動は始まった**



震災直後のカリタス釜石の活動

ボランティア派遣

- 社会福祉協議会及び行政、他支援団体への協力
- 炊き出し、瓦礫除去、泥出し、写真洗浄、子ども支援、イベント、引越し作業等
- は2011年7月26日から「お茶っこサロン」（釜石市社会福祉協議会への協力）を談話室や集会所にて開催



カリタス釜石独自のボランティア

- 細かい住民のニーズに対応（被災者に限らず対応）
- 瓦礫撤去、泥出し、畳出し、炊き出し、縁日
- 行政区を超えて大槌町や陸前高田市にまで活動は及んだ。
- 釜石市の市民活動の継続をサポート（第九、教会ホールの貸出、こどもの遊び場提供等）



教会ホールの開放

- 全国各地から寄せられた救援物資を誰にでも無料配布
- 徐々に物資コーナーから喫茶コーナーへと切り替わり、誰でも自由に居ることができるフリースペース「ふいりあ」が誕生
- ボランティア活動拠点は司祭館



NPO法人カリタス釜石へ

2013年3月19日法人設立

【目的】

この法人はキリスト教的愛の精神に基づき、東日本大震災によって被災した人々に寄り添い、自立を促し、孤立孤独化の防止に努める。また女性や子ども等、弱い立場に置かれた人々の権利擁護のための事業に取り組む。これらの活動を通して、一人ひとりが尊重される優しい社会を目指し、新しい釜石の「街づくり」に貢献することをその目的とする。



被災地復興支援事業

- カリタス釜石がこれまで行ってきた活動の継続
- 東日本大震災によって被災した人々に寄り添い、孤独孤立化の防止に努める。

市民活動サポート事業

- 住民同士の出会いと交流場。ボランティア活動等の市民活動への参画、生きがいづくりを支援。交流人口の拡大を図り市民力向上を促す。

女性サポート事業

- 男女共同参画社会の促進、DV防止啓発活動、女性や子どもの権利擁護を目的としたセミナーやイベント開催。

被災地復興支援事業

東日本大震災によって被災した人々に寄り添い、孤独孤立化の防止に努める。

• フリースペース「ふいりあ」

近隣住民に開放されたフリースペース。誰もが自由に集い、憩うことのできるフリーサロン。男性に特化したイベントも企画実施している。

• サロン活動

仮設住宅やみなし仮設、地域集会所等で年間約900回のサロンを実施。(来年度は約500回を予定)

• 見守り支援活動

地区生活応援センターや社会福祉協議会、NPO団体が連携して行っている住民のお元気確認。グリーンケアや傾聴活動の意味合いを含む個別訪問。

• ボランティア派遣

社会福祉協議会の災害ボランティアセンターや各NPO団体等へのボランティア派遣。

• 各種イベント

当法人主催の夏祭りや餅つき大会、地域主催のお祭り「釜石よいさ」やトリアスロン、盆踊りへの協力等。

…今後…

復興公営住宅での交流会やイベントの開催を予定



市民活動サポート事業

住民同士の出会いと交流場。ボランティア活動等の市民活動への参画、生きがいづくりを支援。交流人口の拡大を図り市民力向上を促す。

「ぷらざ☆かだって」の運営

NPO法人@リアスNPOサポートセンターと共同運営するインターネットスペース。Wi-Fiフリースポットを設置して若年層や就労者向けのアプローチを取り入れる。全国から釜石へ出向いている復興支援者と連携し、新たな中間支援の場として活用する。また、地域住民への交流イベントや情報提供を行う。

多目的ホールと厨房の貸し出し

バリアフリー設計した一階部分にある多目的ホールでは会議やイベント、ミニコンサート等、自由に地域に開放し、料理教室が開けるように厨房の貸し出しも行っている。

多目的ホールと
厨房の貸し出し



市民ボランティア
受付

インターネット



住民の集い場



女性サポート事業

男女共同参画社会の促進、DV防止啓発活動、女性や子どもの権利擁護を目的としたセミナーやイベント開催。

- **女性セミナー（パープルリボンキャンペーン同時開催）全3回**
後援：釜石市、岩手県沿岸広域振興局、釜石市社会福祉協議会、釜石ロータリークラブ
- **パープルリボンサポーター養成講座（基礎編）全5回**
共催：釜石市、NPO法人母と子の虹の架け橋
- **女性防災リーダー養成講座**
共催：釜石市
- **女性の復興カフェ**
主催：多文化と共生社会を育むワークショップ
協働：明日へのかけはし女性の会
協力：カリタス釜石、神戸まちづくり研究所／FM わいわい、（科研）復興・防災まちづくりとジェンダー
- **内閣府主催のイベント参加**
「防災・復興における女性の参画とリーダーシップ」
～第3回国連防災世界会議に向けてのシンポジウム～（コラッセふくしま）



市民力UP!

女性の参画
女性の活躍
女性と子どもが
守られる社会



～女性への暴力の根絶を訴えるパープルリボン～
1994年2月、アメリカで始まった「女性への暴力根絶」を目的とするプロジェクト。現在では40カ国以上の国際的なネットワークになっている。日本では11月中旬に「女性に対する暴力をなくす運動」が内閣府によって制定されている。

現在… 復興(災害)公営住宅への移行期

移行期に予想される課題



山積する諸問題

「こころ」がまちの復興の速度についていけない

……

「こころ」が置いて行かれてしまう……



賛助会員募集中！

カリタス釜石 ホームページ へ！！！！
<http://www.caritaskamaishi.com/>

カリタス釜石「さんりくわかめっ！」 好評発売中！



カリタス釜石では、地元の産業の復興を支え、また、食文化として「三陸のわかめ」を全国の皆さんに知っていただきたく、このたび、湯通し塩蔵した「さんりくわかめ」を販売いたします。

カリタス釜石「さんりくわかめ」の売上金は被災地復興支援事業のために使用されます。